

機関番号：24302

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18320111

研究課題名（和文） 勸修寺聖教・文書の調査と諸寺院間交流の研究

研究課題名（英文） Researches of old documents belonging to KAJU-JI TEMPLE, and studies of social and religious interchanges between KAJU-JI TEMPLE and others.

研究代表者

上島 享 (UEJIMA SUSUMU)

京都府立大学・文学部・准教授

研究者番号：60285244

研究成果の概要（和文）：本研究では、諸分野の研究者が共同で勸修寺に現存する聖教・文書の調査を進めるとともに、勸修寺を中心に諸寺院間交流という共通テーマを掲げて、研究を行うことが目的である。勸修寺現蔵の聖教と中世文書の目録を完成させ、諸寺院間交流をめぐる諸論考をまとめることができ、本研究の目的は十分に達成されたと考える。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this research is to get new recognitions of Japanese medieval Buddhism and temples through the investigation of old documents belonging to KAJU-JI TEMPLE. We accomplished the lists of KAJU-JI SHOGYO and MONJYO, and published dissertations. So we had achieved our purpose.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	6,100,000	1,830,000	7,930,000
2007年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
2008年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
2009年度	2,800,000	840,000	3,640,000
年度			
総計	15,900,000	4,770,000	20,670,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：日本史、勸修寺、真言宗寺院、諸寺院間交流、聖教文書調査

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究代表者および連携研究者は、2000年より「勸修寺聖教・文書調査団」を組織し、勸修寺に現存する聖教・文書の調査を行ってきた。これにより、勸修寺所蔵の聖教・文書の全貌が明らかになりつつある。しかし、正確な目録を作成し、それをデータベース化する作業などは課題として残されている。

(2) 研究代表者は、日本古代・中世の宗教史の研究に取り組むとともに、随心院・安楽寿院・神護寺など京都周辺の真言寺院の聖教・文書調査に携わってきた。これらを踏まえて、諸寺院間での宗教的・社会的な交流をテーマ

に、日本史学のみならず、諸分野の研究者が議論し、新たな宗教史像を構築する必要性を痛感していた。歴史学のみならず、国文学・国語学・仏教学の研究者が加わる「勸修寺聖教・文書調査団」のメンバーとともに、勸修寺における具体的な調査成果を踏まえながら、この課題を考察することとした。

2. 研究の目的

本研究の目的はつぎの3つである。

(1) 勸修寺に現存する聖教および中世文書の悉皆調査を行い、最終年度には聖教・文書目録を完成させ、報告書に掲載する。また、

勸修寺旧蔵史料について、現在の所蔵先を調査し、結果を報告書で示す。

(2) 勸修寺における調査成果を踏まえて、諸寺院間での宗教的・社会的交流をテーマに、諸分野の研究者が議論を重ね、新たな宗教史像の構築を目指す。

(3) 聖教・文書を専門的に扱うことができる若手研究者を養成する。

3. 研究の方法

上記の3つの目的を達成するため、それぞれ下記の研究方法を採用する。

(1) 勸修寺所蔵の聖教・文書の調査を年3回(各5日間)のペースで行い、詳細な目録を完成させ、そのデータ入力、校正作業を進めることで、完成度の高い聖教・文書目録を作成する。また、高野山大学図書館所蔵光明院文庫をはじめ、勸修寺旧蔵史料の調査を進め、目録化を図る。

(2) 研究代表者および連携研究者が年に1度、合宿を行い、それぞれの調査・研究の成果を発表し、諸寺院間での宗教的・社会的交流に関する議論を深める。また、その成果を『勸修寺論輯』および報告書に掲載する。

(3) 京都府立大学大学院文学研究科の大学院生2名をRAとして採用し、勸修寺の聖教・文書調査に従事させる。

4. 研究成果

上記の「研究の目的」「研究の方法」に従い調査・研究を進め、下記の研究成果を得た。

(1) 勸修寺現蔵の聖教および中世文書の目録を完成し、報告書に掲載した。また、勸修寺旧蔵史料の調査成果を踏まえて、江戸中期作成の「勸修寺大経蔵目録」に記載されている各聖教・文書が、現在どこにあるかについて目録化し、報告書に載せた。

(2) 諸寺院間交流に関する研究成果を収めた勸修寺聖教文書調査団発行の『勸修寺論輯』3・4号合併号(2007年刊行)、同5号(2008年刊行)を刊行し、重要な論考は報告書にも収録した。

(3) 中世の聖教・文書調査に熟練した若手研究者2名を養成することができ、彼らは本研究に携わることで、他大学の研究者からも多くの学問的刺激を得ることができた。また、本研究を手伝った大学院生たちも、同様の教育効果があった。

以上により、当初の目標は十分達成することができたと考える。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計17件)

- ① 上島享、中世長谷寺史の再構築、国文

論叢(神戸大学文学部国語国文学会)、査読有、36号、2006、44-80

- ② 上島享、法勝寺創建の歴史的意義、『院政期の内裏・大内裏と院御所』(文理閣)、査読無、2006、272-308

- ③ 上島享、王朝貴族と上賀茂社、『上賀茂のもり・やしろ・まつり』(思文閣出版)、査読無、2006、3-21

- ④ 上島享、〈王〉の死と葬送、『中世寺院暴力と景観』(高志書院)、査読無、2007、127-162

- ⑤ 阿部泰郎、中世聖徳太子伝『正法輪蔵』別伝における四天王寺縁起、勸修寺論輯、査読無、3・4号、2007年、45-61

- ⑥ 阿部泰郎、『宝物目録』、勸修寺論輯、査読無、5号、2008、1-3

- ⑦ 石塚晴通・大槻信、勸修寺蔵金剛頂大教王経頼尊永承点(第一) 釈文稿、勸修寺論輯、査読無、5号、2008、1-24(逆丁)

- ⑧ 大槻信、天理図書館蔵『シヤカニヨライネンシユノシタイ』(釈迦如来念誦次第)、『ビブリア』、査読有、125号、2006、37-109

- ⑨ 大槻信、『正法眼蔵』と日本語 付・両足院所蔵六十巻本『正法眼蔵』、『正法眼蔵』(両足院叢書、臨川書店)、査読無、2006、933-953

- ⑩ 末柄豊、『春日権現験記絵』の奉納をめぐる、日本歴史、査読有、695号、2006、62-70

- ⑪ 末柄豊、中世後期の安祥寺について、勸修寺論輯、査読無、3・4号、2007、5-24

- ⑫ 武内孝善、勸修寺蔵『大師行法』、勸修寺論輯、査読無、3・4号、2007年、107-111

- ⑬ 近本謙介、聖地の継承と再構築に関する言説と行為、アジア遊学、査読無、2008、22-31

- ⑭ 近本謙介、室町の学芸とお伽草子、『お伽草子百花繚乱』(笠間書院)、査読無、2008、316-330

- ⑮ 藤原重雄・末柄豊、東京大学史料編纂所蔵『和歌真字序集(扶桑古文集)』紙背文書、東京大学史料編纂所紀要、査読無、17号、2007、122-129

- ⑯ 藤原重雄、『勸修寺古事』、勸修寺論輯、査読無、3・4号、2007、1-4

- ⑰ 藤原重雄、承安三年最勝光院供養に関する史料、禁裏・公家文庫研究、査読無、3輯、2009、183-195

〔学会発表〕(計3件)

- ① 上島享、「日本中世における神仏習合の展開 一真言護持僧の活動を中心に一」、第3回韓国仏教学結集大会、2006年4月

22日、大韓民国海印寺

- ② 上島 享、「(王)の葬送をめぐって 一顯密僧と禅律僧一」、第4回考古学と中世史シンポジウム「寺院の社会史」(主催考古学・中世史研究会)、2006年7月1日、帝京大学山梨文化財研究所
- ③ 上島 享、「法流の相承と伝法 一虚構と真実一」、国際シンポジウム「仏教学を越えて」(ハーバード大学ライシャワー研究所)、2007年11月15日、アメリカ合衆国ハーバード大学

[図書] (計3件)

- ① 上島 享・末柄 豊・前川 祐一郎・安田 次郎編、続群書類従完成会、『史料纂集 福智院家文書2』、2006、247
- ② 上島 享、名古屋大学出版会、日本中世社会の形成と王権、2010、950
- ③ 大槻 信、淡交社、『古寺巡礼京都3 高山寺』、2009、142

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等 なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

上島 享 (UEJIMA SUSUMU)
京都府立大学・文学部・准教授
研究者番号：60285244

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

阿部 泰郎 (ABE YASURO)
名古屋大学大学院・文学研究科・教授
研究者番号：60193009

伊藤 聡 (ITO SATOSHI)
茨城大学・人文学部・教授
研究者番号：90344829

石塚 晴通 (ISHIZUKA HARUMICHI)
北海道大学大学院・文学研究科・名誉教授
研究者番号：10002289

大槻 信 (OTSUKI MAKOTO)
京都大学大学院・文学研究科・准教授
研究者番号：60291994

末柄 豊 (SUEGARA YUTAKA)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：70251478

武内 孝善 (TAKEUCHI KOUZEN)
高野山大学・文学部・教授
研究者番号：60131611

近本 謙介 (CHIKAMOTO KENSUKE)
筑波大学大学院・人文社会科学研究科・准教授
研究者番号：90278870

苫米地 誠一 (TOMABECHI SEICHI)
大正大学・人間学部・准教授
研究者番号：00340456

藤原 重雄 (FUJIWARA SIGEO)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：40313192